

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 189 年

9 月号

第 175 号

災救隊教区訓練 実施



天理教災害救援ひのきしん隊（災救隊）山形教区隊（佐々幸雄隊長）では、8月29、30日の両日にわたり訓練を実施し、防災意識の啓発、並びに天童公園（舞鶴山公園）の遊歩道整備、教務支庁生垣整備を行いました。

初日午前は、始めに能登半島地震や山形県戸沢村での水害出動における救援活動を記録写真で振り返りました。続いて阪神・淡路大震災以降の30年にわたる日本の防災体制の歩みを検証する映像資料を視聴。課題として残る「災害関連死」の現状について知識を深めると共に、災害時における「自助」「共助」の重要性を学びました。参加した隊員達は、地域の防災の上からも、教会が日頃から周辺住民の方々の「心の拠り所」となるような活動を継続することの大切さを改めて感じているようでした。

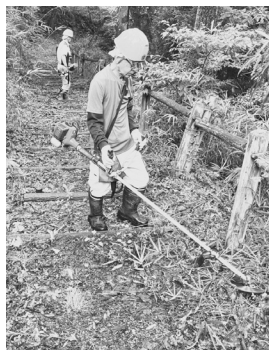
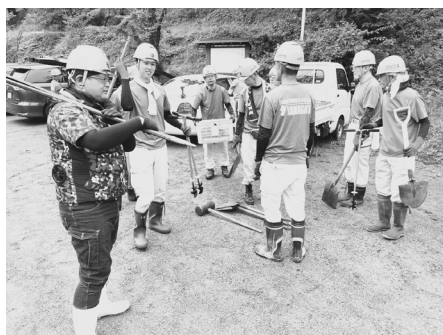
29日午後から30日午前にかけては、実働作業を行い、天童公園では天童市役所の依頼により、園内遊歩道の整備ひのきしんに取り組みました。遊歩道整備は昨年度からの継続作業として行われ、ひのきしんによって園内が美しく安全な環境へと改善されている様子が確認出来ました。

一方、教務支庁の生垣剪定作業では、男子隊員と共に女子隊員もひのきしんに励み、短



期間中は曇り空
 で比較的涼しい天
 候に恵まれたこともあり、けがなどもなく
 順調に予定した作業を完了することが出来
 ました。参加した隊員は「作業箇所が次
 第に綺麗に安全に
 なっていく様子が
 実感でき、次回へ
 の意欲が高まった」
 と手応えを語り、
 継続的な災救隊活
 動への誓いを新た
 にしました。
 報告者
 佐藤善太郎
 災救隊事務局員

時間で予定してい
 たエリアの作業を
 終えました。生垣
 全体のおよそ半分
 の剪定作業に加え
 て、支庁舎東側を
 通る国道13号線歩
 道の清掃作業も行
 いました。





講師 辻 治美 先生

また、教内メディアでは『孤独な人々の居場所づくり』を目標に、様々な教会行事やおちばがえり団参を行っている」と紹介され、『天理いきいき通信』

婦人会のつどい

9月1日、教務支庁を会場に教区婦人会(中森ゆみへ主任)主催の「婦人会のつどい」が開催された。

当日は、管内各地より67名の婦人会員らが参集。参拝の後、会務報告、女子青年担当より11月1日おちばで開催される「第31回女子青年大会」への参加呼び掛けがあり、続けて中森主任が挨拶を述べた。

その後、講師としてお招きした辻治美先生(甲京分教会長夫人)による講話が行われた。辻先生は、里親活動を始め、ご主人(辻真一先生・京甲分教会長)と共に子ども食堂「おかえり食堂」を運営。「ひとり親家庭への子育て支援」「ヤングケアラー家庭への支援」を掲げ、活発なおたすけ活動を展開されている。



ではコラム「わたしのクローバー」を連載。「ラジオ天理教の時間 家族円満」ではおおよそ20回にわたりお話が配信されている。

先生は、障害を持つご自身のお子さんの子育てを通して出会った方々を始め、様々な悩みや不安を抱えながら生活している人々にお道の教えを伝え、御守護頂

くためにこれまで実践してきた具体的な取り組みの一つ一つ振り返りながら、日々しっかりとおたすけの御用に向き合いながら通ることを促された。

グループトークに続く質疑応答では、「子育ての上で大事にしてきたことは」、「にいがけや教会の御用で忙しい中、どのように家事や育児との両立を図っているか」「思うような御守護を頂けないおたすけでの心の持ち方は」などの質問に、ご自身の豊富な経験をもとに丁寧に回答頂いた。



少年会のつどい

8 月 9 日、教務支庁を会場に、少年会教区団（鈴木真団長）主催の「少年会のつどい」を開催。少年会員 10 名、育成会員 14 名の皆さんが参加しました。

始めにおつとめ

を勤めた後、少年会員には座りづとめの鳴り物練習、続いて「水のご守護」をテーマにしたパ



ネルシアターを楽しんでもらいました。昼食には、バーベキュー、おにぎりや焼きそば、またメロンなどの季節の果物も用意し、皆さんは食事をしみながら、交流を深めていた様子でした。

教区少年会では、今年も少年ひのきしん隊本部錬成会が不参加となりました。このつどいは、少年会員達の夏休みの思い出の一つにしてもらうこと、また少年会活動への参加意欲を少しでも継続してもらうことを願い、企画したものです。これからも一人でも多くの少年会員にお道の信仰の素晴らしさを伝えられるよう務めてまいります。引き続きお力添えをお願い致します。

報告者 後藤孝一・少年会教区団委員

中央・中央西支部合同 みちのだい育み塾

中央支部婦人会、中央西支部婦人会（古城輝都子主任）では 6 月 28 日、「みちのだい育み塾」を開催しました。

今回のテーマは「おちば（おやさと）紹介」です。おちばがえりをしたことのない参加者におちばを紹介し、またおちばがえり経験者は、おちばの魅力をどのように周囲の人々に伝えるかを学ぶ機会にしたいと考えました。

当日は 22 名の婦人会員が参加。おつとめに続いて、DVD『おやさと』（道友社発行）を視聴しました。その後、4

班に分かれ、テーマに沿ったグループトークを行い、おちばへの思いやおちばがえりの思い出話で大いに盛り上がり、会員同士の交流を深めることが出来ました。

参加者の中から

は「私自身もこどもおちばがえり以来帰参していないが、今日参加した

ことで、未信仰の主人を連れて是非おちばがえりしたいと思った」との声も聞かれました。



報告者 藤原昭子・中央支部婦人会主任

辞令

少年会山形教区団 団長

辞令交付 立教 189 年 6 月 26 日

新団長 鈴木 真

（南羽分・米沢支部）

【訃報】

池田嘉代氏 南山形分教会三代会長

（島ヶ原大）が 6 月 20 日出直された。

享年 84 歳。中央支部。

教務支庁日誌

6 月

2 日 主事会 地方委員会

教区例会 婦人会例会

山形教区祭実行委員会

6 日 中央支部例会

中央支部婦人会例会

21 日 女子青年例会

みちのだい育み塾

（中央・中央西支部合同）

7 月

2 日 主事会 教区例会

婦人会例会 災救隊例会

6 日 中央支部例会

中央支部婦人会例会

19 日 女子青年例会